

受 賞 者 紹 介

(推薦調書より抜粋)

<担い手育成部門>

山 田 良 一

<農業・農村振興部門>

福 井 直 子

担い手育成部門



豊田市 やま だ りょう いち
山 田 良 一

山田良一氏は、スイカとハクサイによる露地野菜経営を確立し、経営の維持、発展を図りました。また、雇用の活用により経営規模を拡大、平成 29 年には株式会社上原農園を設立し、現在の経営面積は 4.4ha に上っています。

地域の農家の高齢化と後継者不足が進む中、農業振興のためには耕作放棄地が増加しないことが重要と考え、新規就農者が耕作放棄地を活用し、就農後に安定した経営を行っていくための多くの若い後継者達の仲間作りをアシストしました。豊田市が設立した新規就農者育成施設では、講師を務めながら、新規就農を目指した 5 名の若い研修生を就農に導きました。

また、農業大学校の研修生を自ら受け入れ、1 名の新規就農者と 2 名の雇用就農者を確保しました。彼らの就農後の技術習得、経営安定に向け徹底した支援を行った結果、新規就農した 6 名はいずれも経営拡大が図られています。新規就農した 6 名のうち 4 名は、JA あいち豊田猿投白菜部会、同西瓜部会の役職を担うなど、部会の中心メンバーとして活躍するまでに至っています。これら、自身の経営規模拡大と新規就農により、9 ha 以上の優良農地が耕作放棄地となることなく維持されています。

このほか、白菜部会長、西瓜部会長、土地改良区長、農協非常勤理事、農業経営士協会役員などを歴任し、氏の優れた指導力により担い手の確保育成及び地域農業の振興に貢献しています。

農業・農村振興部門



豊橋市 福井直子

福井直子氏は、地域に適した新規転作作物の導入と拡大モデルの確立により、現在、みずほ農産代表取締役として水稲 42ha、WCS（発酵粗飼料）用稲 10ha を耕作しています。

みずほ農産設立後、早くから WCS（発酵粗飼料）用稲に着目し、試験栽培による有効性の実証、栽培方法の工夫や品種選定を重ね、高品質な WCS の生産方法を確立しました。このことが契機となって豊橋稲 WCS 組合が設立され、水田作・畜産農家も含めた経営安定につながっています。

また、女性農業者の情報交換ができる TI（豊橋稲作）レディースを立ち上げ、農村生活アドバイザーの活動として新たに消費者向けの農業講座を開設しました。豊橋市初の女性農業委員として県域の活動にも参画し、「あいち女性農業委員ネットワーク（現在は改称）」の設立に寄与しただけでなく、自ら代表も務め、女性農業委員の登用促進に尽力しています。

さらに、地元小学校の農業体験学習を引き受けるとともに、豊橋市から農の伝導士の委託を受け、9年間にわたり市内小学校で農業教育を行い、この間受講した小学生は延べ3,000名にも上ります。

このほか、豊橋市小売酒販組合青年部とコラボに純米大吟醸酒の原料米の田植え体験会を開催し、一般消費者の農業への理解を促進しています。

農業委員会レディースあいち代表、農村生活アドバイザー東三河支部役員、農の伝導士などを歴任し、氏の優れた指導力は地域の農業・農村振興に大きく貢献しています。